

# 自然教育園見ごろ情報

2026年5月7日号

附属自然教育園

詳しくはHPの「見ごろ情報」  
をご覧ください  
<https://ins.kahaku.go.jp/>



今週はここに注目!

スタジイの花の  
香りがします!



## ジャケツイバラ

蛇と蛇が絡み合うようにツルが重なり合うため、この名がついたともいわれています。刺があることや、名前から、バラの仲間のように思われがちですが、マメ科に属し、豆のような実ができます。



## マルバウツギ

ウツギの仲間で、丸い葉をもつウツギという意味でこの名前がつけられました。



## ヤマボウシ

開花の様子が白い頭巾をかぶった法師を思わせることにより「山法師 (やまぼうし)」の名前がつけられました。白い花びらのように見えるのは「総苞片」で、その中心に小さな花が球状に集まっています。



## カキツバタ

名前は、カキツケバナ (搔付花、書付花) の転じたもので、花の汁をこすりつけて染めたことによります。「万葉集」や「伊勢物語」などの古典文学に登場し、家紋にも用いられるなど、古くから日本人に親しまれた植物です。



## スタジイ(花の香り)

路傍植物園を中心に独特の香りが漂っています。よく「クリの花の香りに似た匂い」「青臭い匂い」などと表現されますが、これはスタジイの花の香りです。スタジイは虫が花粉を媒介する「虫媒花」で、強い香りです。



## ノイバラ

野生のバラで、日当たりのよいところに多く生育します。花は香りがよいので、香水の原料にも使われます。



## ニホンカナヘビ

名前にヘビとつきますが、トカゲの仲間。昆虫やクモを食べます。草の中をゴソゴソ動いている姿や、杭の上でじっとしている姿をよく見かけます。



## ガmazumi

白く小さな花が密生して咲いています。熟した実は甘酸っぱく、食用になるほか、果実酒や漬物の色づけに用いられます。



ガmazumiの実  
(9月下旬~12月下旬)

路傍植物園や  
武蔵野植物園で  
見られます

水生植物園や  
武蔵野植物園で  
見られます

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園